

# 教育委員会点検・評価報告書

(平成22年度評価)

平成23年8月

恵那市教育委員会

## 目 次

### 第1章 点検・評価制度の概要

- 1 点検・評価の目的 .....1
- 2 点検・評価の対象 .....1
- 3 点検・評価の方法 .....2

### 第2章 教育委員会の活動状況についての点検・評価 .....3

- 教育行政評価委員会からの意見 .....5

### 第3章 教育委員会の行う事務事業の執行状況についての点検・評価 .....6

- 教育行政評価委員会からの意見 .....18

#### (参考資料)

- ・ 恵那市教育委員会点検評価実施要領 .....21
- ・ 恵那市教育委員会組織図 .....24
- ・ 平成22年度恵那市教育委員会提出議案等 .....25

## 第1章 点検・評価制度の概要

### 1. 点検・評価の目的

恵那市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会の主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進いたします。

#### 【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規程により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規程により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2. 点検・評価の対象

教育委員会は、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」（平成21年4月1日決裁）に基づき、平成22年度の教育委員会の事務事業等について、次の内容の点検・評価を実施しました。

- (1) 教育委員会の活動状況に関する事項
  - ア 教育委員会の会議の実施状況
  - イ 教育委員会の調査活動の状況
- (2) 事務事業の執行状況に関する事項
  - ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況
  - イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

### 3. 点検・評価の方法

点検及び評価にあたっては、次の評定基準により、達成度についてその評価を行っております。

評定区分	評 定
A	目標を大きく上回る実績
B	目標をやや上回る実績
C	目標どおりの実績
D	目標をやや下回る実績
E	目標を大きく下回る実績

なお、地教行法第27条第2項に規定されている「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」に基づき、評価委員会を設置し、評定結果に対する意見の聴取を行いました。

#### <恵那市教育行政評価委員>

(敬称略／氏名五十音順)

役職名	氏 名	公 職 等
委員	黄地 尚幸	恵那市まちづくり市民協会
職務代理者	西山 さか江	保護司 元社会教育委員
委員長	林 達夫	東海学院大学短期大学部 非常勤講師
委員	林 正市	恵那市PTA連合会会長
委員	水野 喜文	恵那市小中学校校長会会長

第2章 教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会会議の 実施状況	<p>開催回数</p> <p>定例会議 12回 (12回)</p> <p>臨時会議 4回 (3回)</p> <p>審議件数</p> <p>議案 42件 (30件)</p> <p>うち可決したもの 42件 (30件)</p> <p>協議事項 29件 (6件)</p> <p>報告事項 93件 (106件)</p> <p>その他教育長報告 12件 (12件)</p> <p>※ ( ) 内は前年度実績</p>	<p>【成果】</p> <p>月1回の教育委員会定例会議を開催し、議案の審議及び報告が厳正に行われ、委員と事務局の意見交換が活発に行われた。主要事業の進捗状況については、事務局の報告に対し方向性や課題について積極的に議論し、施策の推進を図ることができた。</p> <p>臨時会議も開催し、人事案件や緊急課題について速やかに対応した。</p> <p>会議録はホームページに公開した。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も教育委員自身による議案審議を大切にしていける必要がある。重点課題については集中的に議論する機会を作っていく。</p> <p>ホームページのこまめな更新。</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>
調査活動等の状況	<p>市外視察</p> <p>平成22年10月27日(水) ～28日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江馬氏館跡公園</li> <li>・飛騨市教育委員会</li> <li>・白川郷</li> <li>・下呂市教育委員会</li> </ul> <p>市内視察</p> <p>平成22年4月27日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山岡小学校建設現場</li> </ul> <p>平成22年5月28日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山道(榎ヶ根～四ツ谷)</li> </ul> <p>平成22年7月3日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市中学校総合体育大会</li> </ul> <p>平成22年7月23日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那特別支援学校</li> </ul>	<p>【成果】</p> <p>恵那市が主要事業として取り組んでいる小中学校の適正配置検討事業について、市町村合併後の小中学校の統合に取り組んでいる飛騨市、下呂市を訪問し、方法や課題等について説明を受け、今後の進め方などの参考にすることができた。</p> <p>国指定史跡の整備や活用、伝統的建造物群の活用についても、先進施設を視察し、恵那市での整備活用方法を考える上で参考にすることができた。</p> <p>学校訪問や研究発表会に積極的に参加し、特に今年度はすべての学校、幼稚園を訪問することができ、学校</p>

	<p>平成 22 年 8 月 25 日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂折棚田</li> </ul> <p>平成 22 年 12 月 3 日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那西中学校朝読書</li> </ul> <p>平成 22 年 12 月 16 日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那東中学校合唱祭</li> </ul> <p>平成 22 年 5. 6. 7. 10. 11. 12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問 23 校 3 園</li> </ul> <p>平成 22 年 9 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、体育祭 12 校</li> </ul> <p>平成 22 年 10. 11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定校研究発表 5 校</li> </ul> <p>平成 23 年 1. 2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と市教委懇談会 4 回</li> </ul> <p>平成 23 年 1. 2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間まとめの会 3 校</li> </ul> <p>平成 23 年 3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校卒業式 8 校</li> </ul> <p>岐阜県市町村教委連研究総会 平成 22 年 11 月 12 日（金） 坂祝町</p>	<p>現場の様子や課題を把握することができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>今後も継続的に現場視察を行い、事業の実施時及び施策立案時に活用を図るように努める必要がある。</p> <p>研修成果、視察の内容を教育現場等に紹介する機会を作る。</p> <p><b>【評価】</b></p> <p style="text-align: center;">C</p>
<p>その他の事項</p>	<p>恵那市議会総務文教委員との懇談会 平成 22 年 6 月 25 日（金）</p> <p>市長との懇談会 平成 23 年 3 月 25 日（金）</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>昨年の課題であった市議会議員との懇談会を開催し、教育現場での問題等について意見交換をすることができた。</p> <p>市長の生涯学習等の教育に対する思いを聞き、具体的な生涯学習の展開について意見交換をすることができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>懇談会の定期的な開催等、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図ることができる仕組み作り。</p> <p><b>【評価】</b></p> <p style="text-align: center;">C</p>

## 【教育行政評価委員会からの意見】

### 1. 教育委員会の活動状況について

#### 【総評】

「思いやりと文化を育む人づくりのまち」を基本目標として、恵那市教育委員会はその具現を図るために教育委員会議を活かして各課で着実な成果を上げていることがわかる。特に、市民の立場に立った活動の進め方なされており、現状を分析しながら、改善を図りながらの活動はすばらしいことである。

教育委員会の活動内容は、幅が広く数多くあり、少ない職員で成果をどの項目でも上げることは大変なことである。活動内容の整理・統合を図り、重点化をして一つ一つ目標達成のための具体的方法を考え、実践の充実を期待したい。

#### (1) 教育委員会会議の実施状況

- ・ 教育委員会会議の内容について、教育全般にわたり具体的な事例で話し合われていることがよくわかる。教育委員会で話し合われたことが、事務局で具現化をしようと努力し実施を図っていることなど、教育委員会の活性化が図られており、教育行政に必要な部局であることが理解できる。
- ・ 多岐にわたる議案についてよく協議されている。各学校は教育委員会の問題としていることや動きをよく理解して運営に当たることが大切であると感じる。
- ・ 多数の議案について審議がなされ、市民全般の生活が歴史や文化も大切にしながらよりよいものに方向付けられることを切に願う。
- ・ 教育委員会の課題として、委員自身による審議を大切にしていく必要があるとしているが、委員会制度の特性である住民の代表（レイマンコントロール）による合議制が機能しているのか。

#### (2) 調査活動等の状況

- ・ 教育委員が直接学校や幼稚園を訪問し、実際の様子や課題を把握し教育行政に生かされるようになってきたことは評価できる。
- ・ 視察により把握した学校現場での課題や成功例などを市内各校に情報提供してはどうか。
- ・ 多岐にわたり、各関連の場所を積極的に視察調査がなされている。中でも、小中学校の配置については重要な事業になるものと思われるので、視察を大いに参考とし、子どもたちの不利益にならない方法で進めてほしい。
- ・ 教育委員が学校によく足を運び、子どもや教職員の実際の様子をよく見ることは学校現場にとって刺激や励みになる。

<b>基本目標（政策）</b>	<b>思いやりと文化を育む人づくりのまち</b>
-----------------	--------------------------

<b>1. 学校教育の充実</b>
-------------------

地域に開かれた学校づくりを進め、教育内容や教育環境の一層の充実を図り、子どもたち一人ひとりの思いやりや責任感を育み、確かな学力と生きる力を身につける教育を実践する。

サブ施策名	質の高い教育の推進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館読書活動推進事業</li> <li>・食育推進事業</li> <li>・小規模教育の研究</li> <li>・少人数指導教育推進事業</li> <li>・教員研修事業</li> <li>・国際理解（ALT）教育推進事業</li> <li>・小中学校情報教育システム更新事業</li> <li>・特色ある学校づくり事業</li> <li>・奨学資金貸与事業</li> <li>・食物アレルギー児童・生徒の応援</li> <li>・教育フォーラム事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>学校図書館読書活動推進事業では、恵那市文化振興会に委託した2名の司書が巡回図書館司書として市内の幼稚園、小中学校を定期的に訪問し、児童生徒の読書活動や委員会活動への助言を行った。図書室の効果的なディスプレイ、読み聞かせやブックトークなどにより本に興味を持つ子が増え、図書室の利用が活発になった。</p> <p>平成20.21年度に実施した恵那市小規模教育検討委員会の調査研究結果を基に、「学校適正配置検討事業」として関係校区のPTA役員などに説明をするとともに、意見の聴取を行い、それぞれの校区の現状や保護者の意向について、情報収集することができた。</p> <p>少人数指導教育推進事業では、児童生徒をサポートする学習支援員を前年度以上に確保するとともに、年2回の研修会を実施したことにより、よりきめ細かい指導が行う学校が増えてきた。</p> <p>特色ある学校づくり事業として、地域の講師を活用した講座がすべての小中学校で実施された。また、中野方小学校や上矢作小学校の歯の健康教育、恵那東中学校のFBCを拡大した花作りの活動などが成果を上げている。</p> <p>学校の情報化の推進では、電子黒板5台の導入や教材ソフトを購入し、ICT教育環境の充実を順調に図ることができた。</p> <p>学校栄養教諭が中心となり、食物アレルギー対策の学習や、栽培から調理までの活動を支援する食育推進事業が軌道に乗り始めた。給食センターでは地元産の野菜を給食に取り入れる取り組みをしており、山岡給食センターは第3回地産地消給食等メニューコンテストで文部科学大臣賞を受賞した。</p>	C



サブ施策名	学校間・学校と地域の交流促進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとふれあい交流（市内学校地域交流）事業</li> <li>・学校図書館ネットワーク事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>長島小学校が加わり、実施校は小学校14校、中学校2校となり、交流活動や共同学習が拡大した。多くの場合、旧恵那市の学校と恵南地区の学校との交流で、旧恵那市の学校が明知鉄道を利用して恵南地区の学校を訪れたり、史跡めぐりをしたりしている。体験的な活動を通して、互いの親交と、ふるさと恵那市への郷土愛も深まっている。</p>	C
サブ施策名	相談しやすい環境づくり（心のケア）	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育体制推進事業</li> <li>・不登校等対策事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>県費非常勤講師と組み合わせた効率的な配置により、各学校から心の教室相談員や学習支援員の支援の効果がでているという報告を多く受けた。</p> <p>要支援児童や新就学児への適正就学を行うために、保育園・幼稚園への巡回相談や、子ども元気プラザ（子育て支援課）との連携を強化した対応をし、教育事務所からの評価も高かった。</p>	B
サブ施策名	学校施設等の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全対策事業</li> <li>・山岡小学校校舎改築事業</li> <li>・明智小学校耐震補強大規模改造事業</li> <li>・明智中学校耐震補強大規模改造事業</li> <li>・武並小学校耐震補強大規模改造事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>山岡小学校校舎建設工事とグラウンド整備工事を実施した。校舎は県内・市内産の木材を使用し、二重サッシ、自然採光、太陽光発電システム等を取り入れ、環境に配慮した施設とした。</p> <p>明智小学校耐震補強及び大規模改造工事（I期工事）、明智中学校耐震補強及び大規模改造工事（I期工事）を実施した。工事は学校休業日に集中して行い、児童生徒の学業面や安全面に配慮して実施し、予定通りに完成した。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>少子化により小規模化した学校のあり方について、保護者や地域関係者と対応策を考えていく。</p> <p>支援の必要な子どもたちに対して平成23年度から2ヵ年取り組む「トータルサポート事業」を通して、保育園、幼稚園、子ども発達支援センターなどと連携し、スムーズな就学を図る。また、関連して、大井小学校に新設した発達障害通級指導教室が有効に機能し、成果が上がるよう支援していく。</p> <p>学校施設の整備では、武並小学校と明智小学校及び明智中学校の耐震と大規模改造工事を行い、子どもの安全性の確保に努める。</p> <p>恵那市三学のまち推進計画に基づき、全小中学校による朝読書を推進する。</p>	

2. 生涯学習環境の充実		
<p>市民の誰もが生涯を通じて、それぞれの意欲や興味に応じた自発的・自主的な学習活動を実践し、その学習成果をまちづくり活動に生かせるよう、生涯学習の体制や環境、機会の充実を図る。</p>		
サブ施策名	生涯学習事業の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人教育（高齢者学級）、人権教育、家庭教育の推進</li> <li>・中央公民館運営事業</li> <li>・地域づくり（住民参加型公民館活動）の推進</li> <li>・生涯学習市民三学運動啓発事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>社会教育委員会で家庭教育支援計画の見直し検討を進めるとともに、成人教育、人権教育、家庭教育の推進を図った。成人教育では、中部大学と連携し女性を対象としたビューティーレッスン講座を開催し、幅広い年代の参加を得て、友達作りの場としての役割も果たすことができた。</p> <p>公民館市民講座を318講座開設し、4,947人の参加を得て生涯学習の推進を図った。その他、各公民館で文化まつり、子どもフェスティバル、地域づくり事業などを行った。</p> <p>恵那市三学のまち推進計画に基づき、先人言録（佐藤一斎ひめくり）、冊子「恵那の先人30人」を作成し、先人学習を推進するとともに、郷土愛の醸成に努めた。</p>	
サブ施策名	生涯学習施設の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公民館改修事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>明智公民館トイレ改修工事、飯地公民館2階空調設備改修工事を行った。また、笠置、飯地、岩村、上矢作の4公民館において照明器具等改修工事を行った。トイレや入り口のバリアフリー化は、利用者に大変喜ばれている。</p>	
サブ施策名	生涯学習体制の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民との協働及び市民活動推進事業</li> </ul>	B
取組と成果	<p>恵那市の生涯学習、市民三学運動を推進するため、市全体の組織として市民三学運動推進委員会を、また、市内13地域には市民三学地域委員会（例：市民三学大井委員会）を組織したことにより、各地域で工夫した地域塾の開講をはじめ、恵那市三学のまち推進計画に基づく施策を展開することができた。</p> <p>また、市民三学運動の柱のひとつ、読書のすすめの拠点施設である恵那市中央図書館においても、新たに設置された郷土学習指導員により、郷土の自然、先人等を題材とした展示会を開催するなど、郷土学習推進体制を充実整備することができた。</p>	

サブ施策名	図書館の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那市中央図書館運営事業</li> <li>・ 恵那市中央図書館読書活動推進事業</li> <li>・ ブックスタート事業</li> <li>・ 学校図書館ネットワーク事業（再掲）</li> </ul>	
取組と成果	<p>中央図書館では、来館者259,000人、貸出冊数365,468冊の利用があり、市民一人当たりの利用冊数が6.6冊と県下でも上位の利用状況となっている。22年度末の利用登録者数は21,452人と人口の39.0%を占めている。</p> <p>22年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)に対する文部科学大臣表彰を受賞した。これは、「恵那市子どもの読書活動推進計画」の実施を図書館活動の第一重点施策に掲げ、図書館内の環境整備やブックスタート事業、学校等と連携した活動に取り組んでいることが認められ、読書意欲を高める特色ある優れた活動を行っている図書館に贈られたものである。</p> <p>恵南地区の公民館図書室では図書登録が完了し、中央図書館と同様に貸出・返却処理ができるようになった。</p> <p>児童サービスとして、初めて出版されてから25年以上、子ども達に愛され読み続けられてきた絵本404冊を市内保育園に配置して子どもと本を結びつけ、読書の楽しみを伝えることができた。小学生4～6年生の子ども司書講座を開催、子ども司書の養成により、図書館や学校図書館の活発な利用につなげることができた。図書配送便を活用して、小中学校のリクエストに応じ学校での必要な図書サービスを支援することができた。</p> <p>地域サービスとして、図書配送便を活用し予約した図書の公民館図書室での受け取りや返却と、最寄りの公民館図書室から十分な図書館サービスが受けられるように利便性の向上を図ることができた。</p> <p>郷土資料室の充実として、郷土学習指導員を配置し、市の産業や歴史などに関する資料の収集や企画展として「佐藤一斎展」や「恵那市にかかわりのある先人30人の顔写真展」などを開催して、郷土を知る機会や資料に触れる機会づくりを図ることができた。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>市民三学運動推進のため立ち上げた、市民三学運動推進委員会及び13地域の市民三学地域委員会による地域塾の開講支援などを通して、生涯学習を推進する。</p> <p>地区コミュニティセンターのバリアフリー化を含めた改修など施設整備を進めるとともに、中央コミュニティセンターと12地区コミュニティセンターを中心に、市民講座の充実や地域づくり事業の推進に努め、生涯学習環境の充実と地域づくりへの連携を図る。</p> <p>図書館の充実では、引き続き児童サービス、地域サービス、郷土資料室の充実の三つの重点サービスを中心に、読書活動の推進を図る。</p>	

3. 人を育み、人を活かす教育		
<p>家庭、学校、地域社会が一体となって、次代の恵那市を担う青少年の健全育成や親と子の豊かな心を育む家庭教育、人権教育などを進める。</p>		
サブ施策名	青少年の健全育成	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども教室推進事業</li> <li>子ども会活動支援事業</li> <li>青少年育成市民会議事業</li> <li>総合型地域スポーツクラブ推進事業</li> </ul>	C
<p>取組と成果</p>	<p>青少年育成市民会議と市PTA連合会が連携した子育て親育ちフォーラムの開催、少年の主張大会の開催、児童の声による下校時見守り放送の実施、子ども会インリーダー研修の実施など青少年の健全育成に努めた。</p> <p>子どもの自主性、社会性を育む体験教室「こども教室」を、岩邑小学校、大井小学校、長島小学校、飯地公民館、串原公民館、山岡公民館で実施、年間延べ96回の教室を開催し2,235人の参加を得て、子どもの居場所づくりや交流の場づくりに取り組んだ。</p> <p>放課後子どもプラン推進協議会において、平成20年度策定した「放課後子どもプラン基本指針」をもとに、学童保育と子ども教室の現状と課題などを協議するとともに、岩邑小学校などで学校の教室を活用した夏休み限定の季節学童保育を実施した。</p> <p>これまで旧市町村単位で行っていた成人式を、13地域の成人代表者からなる実行委員会を立ち上げることにより、手づくり成人式を恵那文化センターで統一開催することができた。</p>	
サブ施策名	家庭教育の充実	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭教育事業の推進</li> <li>ブックスタート事業（再掲）</li> <li>発達障害相談事業</li> <li>不登校等対策事業</li> </ul>	C
<p>取組と成果</p>	<p>乳幼児学級については13地区で14学級開催し、317組の親子が学習活動や親同士の交流を実施した。3歳児以下の乳幼児に占める乳幼児学級への参加率は20.8%であった。また、子育てで悩むお母さんを作らないという目標を掲げた明智公民館が、乳幼児学級やききょう大学の事業が評価され、文部科学省の優良公民館表彰を受賞した。</p> <p>その他、パパママ学級やひよこパパママ学級、PTA家庭教育学級、子育て親育ちフォーラムの開催など、生涯学習と家庭教育支援計画を推進することができた。</p>	

サブ施策名	人権教育の充実	評価
主要事業	・人権尊重教育の推進	C
取組と成果	<p>青少年育成市民会議、少年センターと連携し人権講演会「こどもの人権を考える」を開催したことにより、子どもの人権のみならず女性等の人権問題意識の高揚を図ることができた。</p>	
未達成の課題と今後の取組	<p>恵那市放課後子どもプラン推進協議会では、基本指針に基づき、子ども教室と学童保育の連携等課題解決に向けた協議を行う。</p> <p>子ども教室は、平成22年度までに実施した6ヶ所に加えて、新たに大井第二小学校で実施するとともに、横の連絡を密にするため恵那市子ども教室連絡会を立ち上げ、一層の推進を目指す。</p> <p>青少年育成市民会議やPTA連合会など社会教育関係団体による共催事業「子育て親育ちフォーラム」を今後も開催し、団体同士の連携や市民協働の推進に取り組む。</p> <p>平成22年度に見直した恵那市家庭教育支援計画「ステップ親子学びプラン」に沿った事業展開を図るとともに、子育て支援課など他課との連絡調整会議を開催し、効率の良い施策を実施する。</p>	

4. 文化・芸術活動の振興		
市民が文化・芸術に触れられる機会を充実し、市民の文化・芸術活動の活発化を図る。		
サブ施策名	文化・芸術活動の振興	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那文化劇場の充実</li> <li>・ 中山道広重美術館事業</li> <li>・ 恵那市文化振興会の育成支援</li> </ul>	C
取組と成果	<p>恵那文化センターでの新垣勉コンサートなど延4,823人が鑑賞する自主事業を実施し、市民に興行系芸術等に親しむ機会を提供した。</p> <p>中山道広重美術館では、特色ある大正百年プレイベント・山本芳翠生誕160年顕彰事業を含む9回の特別企画展・企画展を開催、延15,000人が観覧し、浮世絵や地域に密着した作家の作品を鑑賞された。また教育普及事業として、連続講座や応募作品が3,160点を数えるこども版画コンクールなどにより、市民の美術館という認識をつくった。</p> <p>(財)恵那市文化振興会に補助金を交付し芸術文化活動の振興、文化団体や史跡保存団体の育成を行い、307団体3,775人の会員の活動促進や延13団体による伝統芸能の保存継承を図った。</p>	
サブ施策名	文化・芸術施設の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那文化センター、明智かえでホール、サンホールくしはらの管理方法の見直し</li> </ul>	C
取組と成果	<p>恵那文化会館と明智かえでホール、サンホールくしはらで行っている自主事業は、利用しやすい環境の創出、市民サービスの向上等の観点から、恵那文化会館と明智かえでホールの2施設について、予算・企画運営の一元化に向けて検討し、H23年度からの実施を決定した。</p> <p>明智かえでホールでは、ピアノ等を無料開放し児童生徒に学習機会を提供、サンホールくしはらでは文化祭やこども歌舞伎の伝承に施設を供するなど、市民が利用しやすいよう両施設の維持管理を行い、延19,000人が利用した。</p>	
サブ施策名	文化・芸術の育成・PR	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那市伝統芸能大会事業</li> <li>・ 恵那市文化祭開催事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>第21回恵那市伝統芸能大会に補助金を交付、総勢250人の出演者と、延べ1,190人の来場者を迎え、各地域に伝わる12演目の伝統芸能の保存継承を図り、市民の一体感を醸成した。</p> <p>第53回文化祭では9月からの約3ヶ月間、美術展に芳翠大賞を新たに設けるなど12部門にわたって開催して創作活動の振興を図り、出品、出演、来場者等5,615人の参加を得た。</p>	

<p>未達成の課題と 今後の取組</p>	<p>恵那文化会館（文化振興会委託）と明智かえでホール、サンホールくしはら（文化課直営）で行っている自主事業は、利用しやすい環境の創出、市民サービスの向上等の観点から、恵那文化会館と明智かえでホールの2施設について、予算・企画運営の一元化に向けて検討し、平成23年度はかえでホールの自主事業を恵那文化劇場に統合して実施する。</p> <p>第54回を迎える文化祭は、内容の充実と参加者増に向けた企画を検討する。</p> <p>中山道広重美術館では、例年の教育普及事業（連続講座、木版画講座、こどものためのワークショップ、版画コンクール）を行いながら、新しいジャンルの企画展示を取り入れ、市民に親しみやすい企画と関連イベントを一層充実する。また、地元商店街や商工会議所との協働事業を進める。</p>
--------------------------	--

5. 文化財の保護		
<p>古くから郷土に受け継がれている文化財や伝統芸能に対する意識を深め、大切に保存・育成し、後世に伝承していく。また、市内観光ルートを設定し、学習資料・観光資源としてのPRと活用に努める。</p>		
サブ施策名	文化財の調査研究	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩村城・岩村城下町・美濃国遠山荘総合調査事業</li> <li>・埋蔵文化財保護の標準化</li> <li>・文化財の調査・保存・活用</li> </ul>	C
取組と成果	<p>文化庁の発掘調査補助により、県史跡岩村城跡の基礎調査として、本丸・石切丁場跡・八幡曲輪の発掘調査に取り組み、石垣修理の石材を城山の中で採石したことなどを確認した。</p> <p>出土品等（極楽寺跡出土墨書石）の保存処理を行うとともに岩村歴史資料館所蔵資料等の調査整理を行い、目録化ができた。</p>	
サブ施策名	文化財の保存・活用	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化的景観保護推進事業</li> <li>・重要文化財武並神社（大井町）本殿保存修理補助事業</li> <li>・岩村城下まちなみ保存事業</li> <li>・上矢作松並木保護整備事業</li> <li>・正家廃寺跡保存整備事業</li> <li>・中山道保存修景整備事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区は、建造物の修理修景工事に補助を行って監理・指導し、4件の修理ができた。また、防災事業に取り組み、2号消火栓1基を設置、3自治会58世帯にグループ防災システムを設置した。</p> <p>国重要文化財「武並神社本殿」の保存修理に補助を行い、寛文12（1672）年以来の大修理を完了した。</p> <p>坂折棚田の文化的景観としての保存対策調査を進め、現況調査と重要な構成要素の特定を終えた。また、正家廃寺跡についての構想を研究会により検討、H23年度に保存管理計画を策定することとした。さらに、中山道の国史跡申請に向け、住民説明を行って意向を確認した。</p> <p>市文化財では「三宅家」に火災報知器と消火栓を整備し火災への備えを行い、その他3件の保護事業等に補助をして保存を図った。</p> <p>埋蔵文化財は、開発に伴い大隈屋敷遺跡の発掘調査を実施し、記録保存をした。</p> <p>中山道ひし屋資料館では、企画展やイベントを実施し、大井宿の歴史と文化の情報を発信、岩村歴史資料館で収蔵品の保管、展示公開を行い、両館で15,000人の入館者があり、岩村城・同城下町や中山道大井宿についての学習や知識の普及を図ることができた。</p> <p>中山道保存伝承団体など7団体に一部助成により文化財や周辺の自主的な環境整備などの活動を支援し、保存を図ることができた。</p>	



サブ施策名	伝統文化の伝承	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先人顕彰事業</li> <li>・恵那市伝統芸能大会事業</li> </ul>	
取組と成果	<p>先人顕彰事業では、2回で320人の聴講者を集めた講演会、4,059点の作品を展示した子ども展、岐阜県美術館・顕彰会などの協力を得た中山道広重美術館特別展の実施により、生誕160年となる郷土の画家山本芳翠について、広く市民の認識を得ることができた。</p> <p>第8回下田歌子賞では、「ふるさとの先人に学ぶ」をテーマにエッセイと短歌を募集、エッセイ308篇、短歌1,311首の応募があり、11月27日に表彰式と記念イベントを実施、先人の顕彰と情報発信ができた。</p> <p>伝統芸能の保存伝承活動を行う12団体に助成を行い伝統芸能などの保存伝承を図ることができた。また、第21回恵那市伝統芸能大会の実施により、団体に発表の機会を提供し伝統芸能の保存伝承を図ることができた。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>岩村城跡では、文化庁の補助により八幡曲輪の発掘調査を継続し、正家廃寺跡は保存管理計画の策定を進める。</p> <p>中山道は、国史跡申請に向けて事務手続きを進める。中山道ひし屋資料館では、企画展やイベントを実施するほか、中山道の保存団体や大井町のまちづくり団体による利活用の促進を図る。</p> <p>岩村町の伝統的建造物群保存地区ではまちなか交流館を整備し、住民主体の活性化施設として開館する。また、岩村歴史資料館は所蔵品の整理を進め、展示のリニューアルを検討する。</p> <p>坂折の棚田は、景観計画の策定に合わせて文化的景観としての地域の合意形成と計画策定に取り組む。</p>	

6. スポーツ活動の振興		
<p>地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの設立・育成や施設の充実、スポーツ交流を促すイベント等の開催を図り、子どもから高齢者まで市民誰もが手軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを進める。</p>		
サブ施策名	地域スポーツ推進体制の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市体育連盟の育成・支援事業</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ推進事業（再掲）</li> </ul>	C
取組と成果	<p>体育指導委員の定数を50人から21人に削減して、新たに地域スポーツ推進委員を設置し、体育指導委員の役割の整理と活性化を図った。そのことにより、地域でのスポーツコーディネーターとしての役割を明確にすることができた。</p> <p>子どもから高齢者までがスポーツに親しめる環境づくりのため、引き続き総合型地域スポーツクラブの設立と運営を支援し、平成22年度は岩村町においてスポーツ振興組織「スポーツネットいわむら」が設立され、合計6団体、会員数は延べ6,669人となった。</p>	
サブ施策名	地域スポーツ施設の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県営スケート場の管理運営</li> <li>・学校施設の地域開放事業</li> </ul>	C
取組と成果	<p>体育施設などの管理業務を行い、安心安全に利用できる施設環境を提供した。社会体育施設、学校開放施設の利用が伸びたことから、スポーツ施設利用者数は563,501人と大幅に増加した。</p> <p>明智B&amp;G海洋センターアリーナの玄関及びトイレのバリアフリー化を行い利用者の便宜を図ることができた。</p> <p>クリスタルパーク恵那スケート場では、シーズン券料金の見直しやナイター料金の新設など、サービスの向上に努め、入場者数の増加につなげることができた。</p>	
サブ施策名	スポーツ交流の促進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぎふ清流国体」開催準備事業</li> <li>・市民体育大会開催事業</li> <li>・恵那峡ハーフマラソン開催事業</li> <li>・大正村クロスカントリー開催事業</li> <li>・スポーツ教室等開催事業</li> <li>・水泳カーニバル開催事業</li> </ul>	C

<p>取組と成果</p>	<p>平成23・24年に行われる「ぎふ清流国体」に向けて、13地区で開催される各種行事の折にPRを行い、国体開催の周知に努めた。また、リハーサル大会として第34回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会を開催し、「ぎふ清流国体」のスピードスケート競技に備えた。競技会の開催には自信が付いた。</p> <p>恵那市国体開催種目である弓道とスケートの体験コーナーを、健康福祉祭、レクスポえなで実施し、実際にそのスポーツを体験してもらうことで、多くの市民に国体開催への理解や期待をもっていただくことができた。</p> <p>(財)恵那市体育連盟に市民体育大会や各種スポーツ教室、水泳カーニバル等を委託して実施し、多くの市民にスポーツの場を提供することが出来た。</p> <p>新しいスポーツとしてノルディックウォーキングの普及に努めたことにより、新スポーツとしてノルディックウォーキングが市民に広がり始めた。</p>	<p>C</p>
<p>未達成の課題と今後の取組</p>	<p>「ぎふ清流国体」の弓道競技とスピードスケート競技の開催に向け準備を進める。</p> <p>体育施設などの管理・運営では、引き続き適切な管理に努める。</p> <p>地域コミュニティーにおいては、地区体育協会、まちづくり組織、総合型地域スポーツクラブ等が主にスポーツ振興を担っていることから、それぞれの役割を整理するとともに、加入率が低迷する総合型地域スポーツクラブの支援とあり方の検討を進める。</p> <p>県営スケート場では、引き続き多くの方々に利用いただけるようPRに努めていく。</p> <p>平成24年度から平成25年度にかけて、各地区と市全体におけるスポーツ振興計画を策定し、現在の体育振興施策を再構築していく。</p>	

## 【教育行政評価委員会からの意見】

### 1. 教育委員会の行う事務事業の執行状況について

#### 【総評】

子どもたちや市民のことを考えた施策を着実に進めている姿を評価したい。あわてず、じっくり納得をした上で事業を進めていっていることが恵那市の良さだと考える。子どもたちのために、市民のためにという姿勢でこれからも進めてほしい。

組織目標については、目指す具体的な姿、方向性を明確に示していく必要性を感じる。具体的にイメージでき、数値化できるものは数値化するなど、評価しやすいものにしてほしい。また、市の考え方を市民に発信していく方法として、ホームページをリアルタイムに更新していくことも重要なことである。有効に活用してほしい。

目標達成度の低い事業については、低い原因には何があるのか、その解決の方法としてはどうするのか、改善策を示していくとよい。

限られた職員数で仕事をしていく中では、事業を精選していく必要が出てくる。同じような内容の事業が名称を変えて実施されていることがあるので、一度整理して統合できないか検討する必要がある。生涯学習（幼児から老人までの生涯学習）を時系列に並べて、どの年代にどんな事業が行われているか、一貫教育の流れで見ることが大切である。市民の立場で見直してほしい。

#### (1) 教育委員会主要事業について

- ・ 小中学校の適正配置検討についての推進にあたり、地域住民の思いを大切にし、教育の充実を図る上で子どもの側に立って必要な規模の学校づくりを段階的に進めていく姿勢は評価できる。
- ・ 学校のあり方について、教育委員会の考え方を保護者や地域に説明する必要があると同時に、学校にも説明をしてほしい。
- ・ 情報機器の活用推進事業で、教育委員会事務局と学校間の各種文書をシンクライアントシステムによりかなり減らすことができた。なお一層徹底的に進めていくことが望まれる。
- ・ 「大人が変われば子どもも変わる」をめざし、三学運動推進により各個人が心を豊かに、相手を思いやる精神を学ぶべきではないか。短期間での達成は望めないが、長期戦で、今後の人間形成には重要なことだと考える。
- ・ 「読書」に親しむ市民のまちづくりは、とても魅力のある施策であると考ええる。
- ・ 文化遺産を後世にどのようにして引き継いでいくか、大きな課題である。
- ・ 国体種目「弓道」は、競技人口も少なく市民にその魅力が伝わっていない。その魅力をどうアピールしていくか、工夫が望まれる。
- ・ 国体に向けて、プレ大会での反省点などをよく検討し、全市民にも心に残る大

会にしてほしい。

- ・ スポーツ振興計画は、選手強化とレクリエーションスポーツの二本立てで考えていく必要がある。

## (2) 恵那市総合計画施策について

### 「学校教育の充実」について

- ・ 地域の特徴を十分に活かしながら、市内の児童生徒が平等で安全な教育が受けられるよう工夫されている。
- ・ ふるさとふれあい交流事業では、合併により広域になった恵那市内を知ることにより、ますます子どもたちの心に郷土愛が深まることは望ましいことである。
- ・ 県立施設が廃止になり、根ノ上研修を市内小中学校で実施し始めている。根ノ上はふるさと恵那を眺望できる大切な体験学習の場である。野外活動推進事業としての取り組みの充実を望む。
- ・ 学習支援員や教育相談ということについては、非常に手厚い施策がとられている。

### 「生涯学習環境の充実」

- ・ 市民三学運動が展開され、市民の中に浸透しつつあるように思える。年齢に適した方法でこの精神を学び、それぞれの心の成長に役立つことを期待し、息の長い活動にしてほしい。
- ・ 生涯学習について、年代別の学びを意識した全体構想図（イメージ図）があるとより浸透しやすいのではないか。
- ・ 学校教育では小中学生の時期ならでの学びをさせ、生涯学習の基盤を作ることを軸に置かせたい。
- ・ 地区の公民館を活用して本の受け取り、返却はとても便利だと思う。幼少の頃から多くの本に触れる機会が増えることは望ましいことで、さらに検討、充実を望む。

### 「スポーツ活動の振興」

- ・ 「市民ひとり一日スポーツ」を提唱し、多くの市民がスポーツを楽しみ、交流する姿は素晴らしい。来年開催される「ぎふ清流国体」では、全市民がいろいろな方法で参画し、市民総出で大会を盛り上げて成功させてほしい。そのことで一層市民同士の絆が深まるとよい。

## 参 考 資 料

- ◆ 惠那市教育委員会点検評価実施要領
- ◆ 惠那市教育委員会組織図
- ◆ 平成22年度惠那市教育委員会提出議案等

## 恵那市教育委員会点検評価実施要領

平成 21 年 7 月 24 日恵那市教育委員会告示第 14 号

(目的)

第 1 条 この要領は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 27 条第 1 項に規定する点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(評価事項)

第 2 条 教育委員会は、前年度の次の各号に掲げる教育委員会の取組みについて点検及び評価を実施する。

(1) 教育委員会の活動状況に関する事項

ア 教育委員会の会議の実施状況

イ 教育委員会の調査活動の状況

(2) 事務事業の執行状況に関する事項

ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況

イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果

(3) その他教育委員会が必要と認める事項

(点検評価の手順)

第 3 条 教育長は、前年度における前条第 1 号及び第 3 号に掲げる事項について、教育委員会会議等の点検及び評価（様式第 1 号）により、点検及び評価を行うものとする。

2 前年度における前条第 2 号に掲げる事項についての点検及び評価は、市が実施する総合計画管理チェックシートにより行うものとする。

3 教育長は、第 1 項及び第 2 項の結果を教育委員会に報告する。

4 教育委員会は、前項の報告を基準として、点検及び評価を実施する。

(評価委員会の設置)

第 4 条 教育委員会は、法第 27 条第 2 項の規定により、同条第 1 項の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、恵那市教育行政評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 5 条 委員会は、教育委員会の求めに応じ、第 3 条の点検及び評価を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(委員)

第6条 委員会は、5人以内の委員で組織し、委員会の委員は、優れた識見を有する者その他教育委員会が適当と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員の任期は2年とし、再任されることができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定した委員がその職務を代理する。

(公表)

第8条 教育委員会は、法第27条第1項に規定する点検及び評価の結果に関する公表について、ホームページにより行うものとする。

(委任)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、告示の日から施行する。

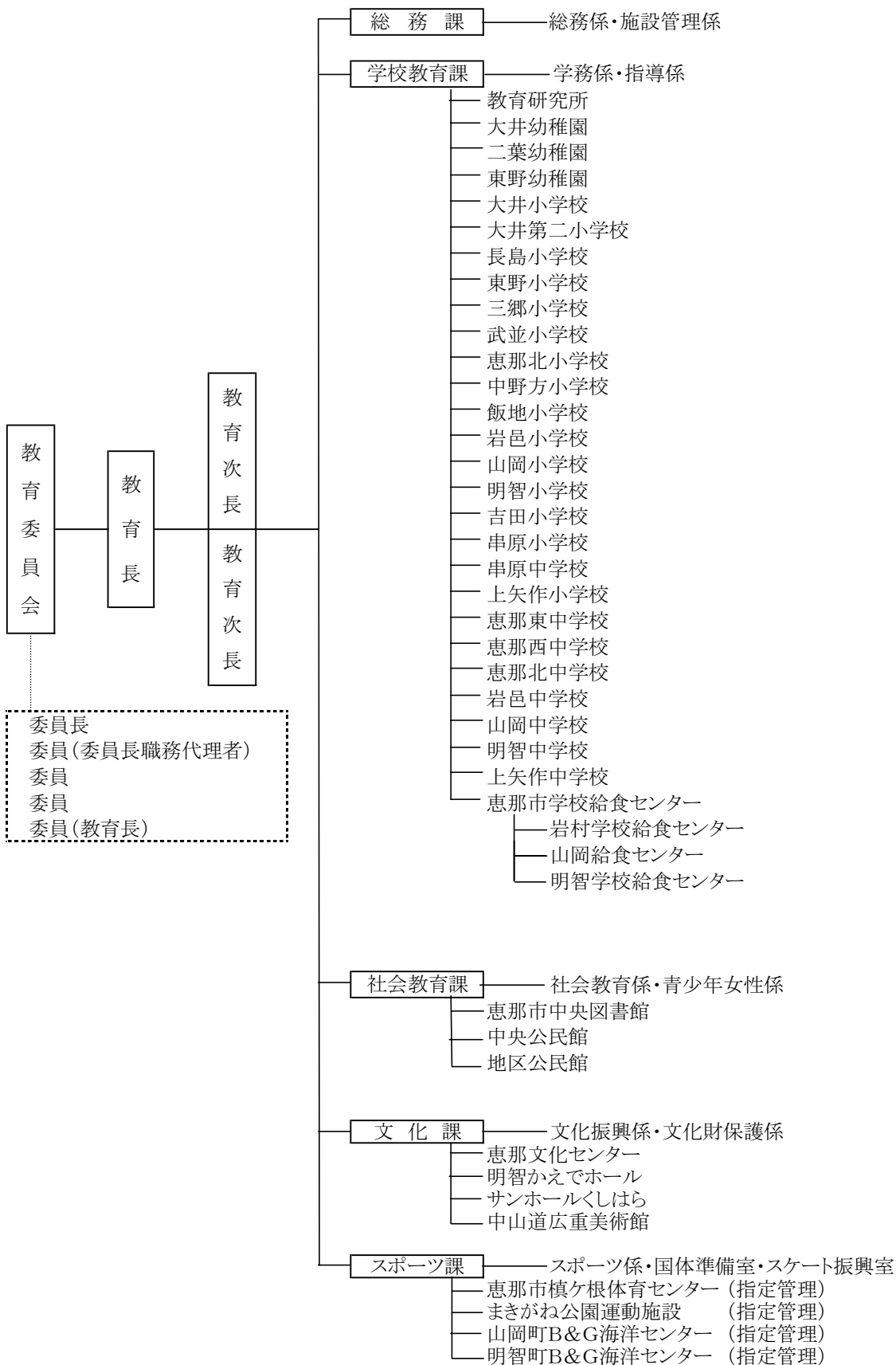


様式第1号（第3条関係）

教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会会議の実施状況		
調査活動等の状況		
その他の事項		

**恵那市教育委員会の組織図**



平成22年度恵那市教育委員会提出議案等について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等
第5回定例会	平成22年4月27日	報告事項	報第1号 平成22年度教育委員会主要事業について 報第2号 恵那市市民三学運動推進委員会設置要綱の制定について 報第3号 恵那市伝統的建造物群保存地区グループ防災システム補助金交付要綱の制定について 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 平成22年度岐阜県教科用図書東濃地区採択協議会の設置についての議決書について 報第7号 5月の行事予定について
第6回定例会	平成22年5月28日	報告事項	報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 平成22年度岐阜県教科用図書東濃地区採択協議会について 報第3号 恵那市の幼稚園・小中学校(6月)のトピックについて 報第4号 平成22年度恵那市社会教育委員の委嘱について 報第5号 平成22年度恵那市青少年育成市民会議総会及び第6回「少年の主張」大会開催について 報第6号 中山道国史跡指定の申請について 報第7号 岐阜清流国体について 報第8号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第9号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第10号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第11号 6月の行事予定について
第7回定例会	平成22年6月25日	議第18号 議第19号 協議事項 報告事項	恵那市教育委員会点検・評価(平成21年度事業) 恵那市公民館運営審議会委員の委嘱について 協第1号 小学校の適正配置について 報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(7月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 恵那市岩村歴史資料館書籍等委託販売事務取扱要領 報第7号 7月の行事予定について
第8回定例会	平成22年7月23日	協議事項 報告事項	協第1号 平成23年度使用小・中学校用教科用図書東濃地区採択議決について 報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 地域スポーツ推進委員の選任について

			報第3号 恵那市の幼稚園・小中学校(8月)のトピックについて 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 小中学校の適正配置について 報第8号 8月の行事予定について
第9回定例会	平成22年8月25日	議第20号 協議事項 報告事項	恵那市学校設置条例の一部改正について 協第1号 小・中学校の適正配置(案)について 報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(9月)のトピックについて 報第3号 歴史的環境形成総合支援事業による事業の施行について 報第4号 地域スポーツ推進委員の選任について 報第5号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第6号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第8号 9月の行事予定について
第10回臨時会	平成22年9月8日	議第21号	教職員の不祥事について
第11回臨時会	平成22年9月17日	報告事項	報第1号 教職員の不祥事について
第12回定例会	平成22年9月24日	議第22号 報告事項	岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場料金等の改正について 報第1号 9月学校事故について 報第2号 都市課長会の開催について 報第3号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第4号 恵那市の幼稚園・小中学校(10月)のトピックについて 報第5号 恵那市市民三学地域委員会設置要綱の制定について 報第6号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第7号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第8号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第9号 10月の行事予定について
第13回定例会	平成22年10月27日	報告事項	報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(11月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 11月の行事予定について
第14回定例会	平成22年11月25日	協議事項 報告事項	協第1号 交通事故の処分について 報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(12月)のトピックについて

			報第3号 恵那市「子ども展」「山本芳翠生誕160周年記念展」の開催について 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 12月の行事予定について
第15回臨時会	平成22年12月16日	議第23号 報告事項	教育委員長及び職務代理者の選任について 報第1号 恵那市「岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場」管理規則を廃止する規則について
第16回定例会	平成22年12月24日	協議事項 報告事項	協第1号 交通事故の処分について 報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(1月)のトピックについて 報第3号 全日本ジュニアスピードスケート選手権大会について 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 1月の行事予定について
第1回定例会	平成23年1月28日	協議事項	協第1号 恵那市生涯学習都市「三学のまち宣言」の制定について 協第2号 恵那市大正村明智の森キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定について 協第3号 恵那市スポーツ施設条例の制定について 協第4号 恵那市指定文化財旧三宅家条例の一部改正について 協第5号 恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区町屋活用施設条例の一部改正について 協第6号 恵那市かえでホール条例の一部改正について 協第7号 恵那市串原山村文化資源保存伝習施設条例の一部改正について 協第8号 恵那市中山道ひし屋資料館条例の一部改正について 協第9号 恵那市岩村歴史資料館等設置条例の一部改正について 協第10号 恵那市中山道広重美術館条例の一部改正について 協第11号 恵那文化センター条例の一部改正について 協第12号 恵那市市民会館条例の一部改正について 協第13号 恵那市公民館条例の一部改正について 協第14号 恵那市学校設置条例の一部改正について 協第15号 岩村町本通り伝統的建造物群保存地区町屋活用施設指定管理者の指定について 協第16号 恵那市中山道四ツ谷休憩所の指定管理者の指定について 協第17号 恵那市指定文化財旧三宅家の指定管理について

		報告事項	<p>協第18号 山岡B&amp;G海洋センター、山岡グラウンド、山岡テニスコート、ヒマリーマレットゴルフ場の指定管理者の指定について</p> <p>報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について</p> <p>報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(2月)のトピックについて</p> <p>報第3号 全日本ジュニアスピードスケート選手権大会について</p> <p>報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について</p> <p>報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について</p> <p>報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について</p> <p>報第7号 2月の行事予定について</p>
書面議決	平成23年2月15日	<p>議第1号 恵那市学校設置条例の一部改正について</p> <p>議第2号 恵那市公民館条例の一部改正について</p> <p>議第3号 恵那市市民会館条例の一部改正について</p> <p>議第4号 恵那文化センター条例の一部改正について</p> <p>議第5号 恵那市中山道広重美術館条例の一部改正について</p> <p>議第6号 恵那市中山道ひし屋資料館条例の一部改正について</p> <p>議第7号 恵那市岩村歴史資料館等設置条例の一部改正について</p> <p>議第8号 恵那市明智かえでホール条例の一部改正について</p> <p>議第9号 恵那市指定文化財旧三宅家条例の一部改正について</p> <p>議第10号 恵那市串原山村文化資源保存伝習施設条例の一部改正について</p> <p>議第11号 恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区町屋活用施設条例の一部改正について</p> <p>議第12号 恵那市大正村明智の森キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定について</p> <p>議第13号 恵那市スポーツ施設条例の制定について</p> <p>議第14号 恵那市生涯学習都市「三学のまち宣言」の制定について</p> <p>議第15号 岩村町本通り伝統的建造物群保存地区町屋活用施設指定管理者の指定について</p> <p>議第16号 恵那市中山道四ツ谷休憩所の指定管理者の指定について</p> <p>議第17号 恵那市指定文化財旧三宅家の指定管理者の指定について</p> <p>議第18号 恵那市山岡B&amp;G海洋センターの指定管理者の指定について</p> <p>議第19号 恵那市山岡グラウンド及び恵那市山岡テニスコートの指定管理者の指定について</p> <p>議第20号 恵那市山岡マレットゴルフ場の指定管理者の指定について</p>	
第2回定例会	平成23年2月28日	協議事項	<p>協第1号 教育委員会規則の一部改正について</p> <p>協第2号 恵那市長に対する事務委任及び補助執行に関する規則の制定について</p> <p>協第3号 恵那市大正村明智の森キャンプ場管理規則の制定について</p> <p>協第4号 恵那市スポーツ施設管理規則の制定について</p>

		報告事項	協第5号 恵那市立学校施設開放規則の一部改正について 協第6号 交通事故の処分について 報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(3月)のトピックについて 報第3号 専決処分について 報第4号 JOCジュニアオリンピックカップ第34回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会の報告 報第5号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第6号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第8号 3月の行事予定について
第3回臨時会	平成23年3月7日	議第21号	人事異動について
第4回定例会	平成23年3月25日	議第22号 議第23号 議第24号 議第25号 議第26号 議第27号 議第28号 議第29号 議第30号 議第31号 議第32号 議第33号 議第34号 議第35号 議第36号 報告事項	恵那市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 恵那市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則について 恵那市スクールバス運行管理規則について 恵那市遠距離通学費補助金等交付要綱について 恵那市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則について 恵那市私立幼稚園施設整備資金利子補給補助金交付要綱について 恵那市幼稚園規則の一部を改正する規則について 恵那市幼稚園管理規則の一部を改正する規則について 恵那市幼稚園入園規則の一部を改正する規則について 恵那市幼稚園の施設整備使用規則の一部を改正する規則について 恵那市教育委員会安全衛生管理規則の一部を改正する規則について 恵那市私立幼稚園施設整備資金利子補給補助金交付要綱を廃止する要綱について 恵那市園外行事企画実施に関する基準を廃止する基準について 恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区保存計画の改正の告示について 恵那市スポーツ施設管理規則について 報第1号 平成22年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の幼稚園・小中学校(4月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 4月の行事予定について

平成23年度（平成22年度対象） 教育委員会点検・評価報告書

発行 恵那市教育委員会

〒509-7492 恵那市岩村町545-1

電話：(0573) 43-2112（内線）311

FAX：(0573) 43-4137